

授業科目 健康情報論	科目概要・形式 2 単位 30 時間	配当年次 1年 前期
科目責任者	大西基喜	
担当者	中山健夫、中山和弘、大西基喜	
1. 科目のねらい・目標 ヘルスコミュニケーションの理論と実践を体系的に理解する。ヘルスケア（医療介護現場）におけるコミュニケーションや意思決定、予防行動やヘルスプロモーションにおけるヘルスコミュニケーション／ヘルスリテラシーを考える。		
2. 授業計画・内容 <ul style="list-style-type: none"> ・健康情報を入力・理解・評価・活用（意思決定、行動）する能力としてのヘルスリテラシーを理解する。 ・疫学・根拠に基づく保健医療の基礎知識を学び、各種の健康・医療情報を適切な利用に役立てる。 ・健康・医療に関する「益と害」に関する情報のコミュニケーションを巡る諸課題を理解する。 ・ヘルスケアにおけるシェアード・ディジションメイキングとインフォームドコンセントの違いとそれぞれの役割を理解する。 （以上、中山健夫担当） ・健康情報を入力・理解・評価・活用（意思決定、行動）する能力としてのヘルスリテラシーの定義を把握し、医療の場とヘルスプロモーション（健康の社会的決定要因）の場におけるヘルスリテラシーの相違について理解する。 ・ヘルスリテラシーの測定と評価の方法について尺度を利用して理解する。 ・ヘルスリテラシーのある組織や社会をつくるために必要な科学的リテラシー（エビデンスとナラティブ）、メディアリテラシー（マスメディア、ソーシャルメディア）、文化リテラシーについて議論する。 ・世界のヘルスリテラシーへの取り組みから日本での課題について検討する。 （以上、中山和弘担当） ・医療現場における、ヘルスコミュニケーション（医療者・患者/家族間、医療者/医療者間）を検討する。その中で、意思決定における諸要因を考察する。 ・医療情報について、定義・管理・運用・共有化等、全般について理解する。 （以上、大西担当） 		
3. 教科書、参考書 中山健夫. 健康・医療の情報を読み解く：健康情報学への招待 丸善出版 2014 中山健夫. これから始める！ シェアード・ディジションメイキング：新しい医療のコミュニケーション 日本医事新報社 2017 福田洋・江口泰正編『ヘルスリテラシー：健康教育の新しいキーワード.』大修館書店, 2016. Web サイト『健康を決める力ーヘルスリテラシーを身につける』 http://www.healthliteracy.jp/ 福田洋・江口泰正編『ヘルスリテラシー：健康教育の新しいキーワード.』大修館書店, 2016. その他、参考書・論文は適宜紹介する。		
4. 成績評価方法 出席状況や試験（ないしレポート）などにより総合的に評価する。		
5. 受講要件 特になし		
6. 社会人学生に対する配慮 社会人が受講しやすいよう、概ね、金曜日夕～日曜日に集中的に講義する		

7. その他